

## レファレンス

### コーナー

## 中国の環境問題

伊藤えりか

改革開放政策に転換して以来、中国は目を見張るスピードで経済成長を遂げてきた。しかし、その過程で深刻な環境問題が発生している。

地球の七・二％を占める国土面積と世界の五分の一に相当する一二億人もを人口を抱えていることから、中国の環境問題に対しては、一九八〇年代から世界の関心が向けられていた。環境問題が一国の問題ではなく、地球全体の問題と認識されるようになってからは、日本を中心としたアジア各国の注目を集めている。

中国で環境保護法が制定されたのは一九七九年である。建国三〇年来環境問題は放置されており、このとき既に環境汚染や環境破壊が進んでいた。さらに、一九八〇年代に有効な対策がとられなかったため、一九九〇年代初めには環境問題はかなり深刻なものとなっていた。大気汚染については世界大都市の大気汚染調

査で、上位五〇都市のうち三二都市を中国の都市が占めたという調査結果（一九九八年）もあるほどだ。

現在では水質汚濁、大気汚染、固形廃棄物、騒音が四害と呼ばれ、早急に対策を求められている。ほかに、渇水、砂漠化、酸性雨、公害病なども無視できない問題となっている。

中国の環境問題に関する資料は、環境工学的視点のものと、経済・社会問題として分析したものに大別される。アジア経済研究所図書館の蔵書から、関連著作を紹介したい。

読売新聞中国環境問題取材班『中国環境報告——苦悩する大地は甦るか』（読売新聞社 一九九九年）には一九九八年の取材による連載記事がまとめられ、中国の環境問題の実例を概観・理解するのに役立つ。

李志東著『中国の環境保護システム』（東洋経済新報社 一九九九年）では、中国の環境保護関係法規の成立と体系が詳しく書かれている。

小島麗逸編『環境——成長への制約となるか』（東京大学出版会 二〇〇〇年）は中国の環境政策史がまとめられ、中国の経済成長と環境問題への関連を細かく検証する。出典資料の取り扱いでは、その特徴を把握した緻密な分析が行われている。

有名な中国研究誌である『The China Quarterly (CQAS)』の編集委員の一人 Vicky Shi は、早くから中国の環境問題に注目していた。一九八三年出版の『パーツラフ・スマイル』『蝕まれた大地——中国の環境

問題』（行路社 一九九六年）、一九九三年発表の『パーツラフ・シユミル』著『中国の環境危機』（亜紀書房 一九九六年）は、中国の環境問題への関心が高まると、相次いで邦訳された。豊富な中国経済・社会の知識を生かして、前著では砂漠化、水資源と水質汚染、大気汚染、生態系、都市・農村それぞれの問題をその背景説明とともに論じ、解決策を提示している。後著では人口、水資源、経済成長、エネルギー、食糧問題について前著同様に分析している。環境問題は増え続ける人口や食糧供給問題とも切り離せない。

また、環境問題は経済成長の過程で発生し、必ずエネルギー消費を伴う。井村秀文・勝原健編著『中国の環境問題』（東洋経済新報社 一九九五年）、張宏武『中国の経済発展に伴うエネルギーと環境問題——部門別・地域別の経済分析』（淡水社 二〇〇三年）は、エネルギー消費に焦点を当て、その結果としての環境汚染の実例を解析している。王漢臣著『中国の大気汚染対策』（重化学工業通信社 一九九七年）では、中国の国家環境保護局の専門家が行った大気汚染調査・研究結果が紹介されている。

一九九〇年代から、中国政府は経済成長を維持しつつも、環境汚染の発生を未然に防止する政策を打ち出し、着手し始めている。日本の環境NGOや大学等の研究機関が、産業廃棄物問題や、郷鎮企業と環境問題

の関係など、主題別環境問題の調査を行っている。環境省の委託事業『二世紀初頭における環境・開発統合支援戦略策定（国別調査）報告書——中国』（海外環境協力センター 二〇〇二年）もそのひとつだ。

巻末に第九次・第十次の国家環境保護事業五カ年計画の邦訳が掲載されている。ほかにも日中の共同調査・研究や環境保護の技術移転が数多く行われている。定方止毅等編『中国環境ハンドブック』（サイエンスフォーラム 一九九七年）は日中の環境問題専門家約六〇名による共同研究の報告書である。中国の環境関連事項を一件ずつ、環境工学の立場から、現況の調査結果と対策技術を検討している。

このような実地調査や研究を基に環境対策に取り組む企業が、巨大ビジネス市場としての中国に注目している。清華大学環境科学と工程系編『中国環境ビジネス——現状と将来予測』（神鋼リサーチ 隔年刊）は環境ビジネス市場として中国を調査し、関連情報をまとめている。

中国語資料では、『中国環境年鑑』が一九九〇年から毎年発行されている。巻末に掲載されている統計データは唯一の公式発表数値である。また、中国政府が力を入れている関連法規の整備に伴い改訂・追加された法律は、『中国環境保護法規全書』に定期的にまとめられている。

（いとう えりか／アジア経済研究 研究所蔵書）